

OPENWAY FT RHEL 版 (Ver3.2 Rev90) リリースノート

OPENWAY FT RHEL 版 (Ver3.2 Rev90) では、前バージョン (Ver3.2 Rev80) に対して、以下の仕様追加を行っています。

《仕様追加》

【1】 UTF-8・SJIS 文字コード変換ユーティリティ

UTF-8・SJIS 間の文字コード変換ユーティリティを追加いたしました。
主な機能は以下の通りです。

〈主な機能〉

- JIS83 年度第一水準、第二水準 (JIS X 0208-1983) 準拠
 - フリーフォーマット変換/レコード変換 可能
 - 外部特殊変換による外字変換 可能
 - UTF-8 の BOM 対応
 - 1~3 バイトの UTF-8 文字 対応
- ※4 バイト UTF-8 文字は、指定された変換不可文字へ変換 (外部特殊変換は不可)

〈提供モジュール〉

uconv8ts …UTF-8 ⇒ SJIS 文字コード変換コマンド

uconvst8 …SJIS ⇒ UTF-8 文字コード変換コマンド

以 上

* 動作環境について *

OPENWAY FT RHEL 版 Ver3.2 Rev90 の動作環境は以下の通りです。

RedHat Enterprise Linux 5.5 (64bit)

RedHat Enterprise Linux 6.0 (64bit)

※OS のマイナーバージョンについては、OS ベンダーのバイナリー互換保証に基づいたサポートといたします。

※RHEL 版の実行ユーザの言語環境は「EUC」ロケールである必要があります。